

子育て支援に、真に必要なことは……

以前、当HPに、「書籍：『子育て ハッピーアドバイス』を読んで（「雑学BN」の書籍等読後感関係（Ⅲ）P、2006.03.04.：参照）」と、「書籍：『子育て ハッピーアドバイス ②』を目にして（「雑学BN」の書籍等読後感関係（Ⅲ）P、2006.04.14.：参照）」を掲載しましたが、書店で「子育て ハッピーアドバイス ③」を見かけ、早速購読した。

第①、②巻は、「何も子育てに限らず、我々の人間関係（コミュニケーション）にも役立つ工夫のアドバイスの書」と思い、みなさんに厚かましく紹介し、また、値段も手頃なので授業で学生たちにも推薦していた。

100万部突破とかで、いずれの書店でもいまだ山積みされており、「我が眼力に狂いはなかった！」と自画自賛(*^_^*)。

第③巻でも著者は、『自己評価』を育む、ということは、子どもの今のそのままと認めていくことです。勉強できてもできなくても、子どもなりに、一生懸命生きてる、それをまず認めて、あなたは、とつても素敵だ、大切な子だ、ということ伝えていくのです。」と述べ、「自己評価を育むために、もう一つ大切な、子どもの自立心を育てる、ということ」を第③巻のテーマとし、「読者から要望のあった、思春期の対応について」も触れている。

思春期の、大人側から見ていわゆる問題行動（不登校、閉じこもり、プチ切れ、心身症、等々）の、そうならないための子どもの視点から、大人の対応の仕方等へのアドバイスにも触れている。

また、帯に「親が楽になると、子どもも楽になります。」とあるように、大人（親）の肩の力の抜き方にも触れている。

それだけに、巷で叫ばれている「子育て支援」の真の中身として必要なことは、「しつこくしつかりとか、家庭の教育力をつける、というような抽象的な話ではありません。具体的に、子どもの発達に応じて、どのように子どもに関わっていくのか、という知識でありスキル（技術）です！」と記している。

正に、第①、②、③巻とも、その知識とスキルを、漫画を多用して分かり易く説明、解説してる書ということになるろうか。

第③巻もご一読をお勧めします。

周りの子育て中の方にも、紹介してあげてください。

(2006年9月14日 記)